

※とはち通信

長崎西南部の史跡・名勝・天然記念物等の紹介通信

第 11 号

※一説によると、かつて長崎西南部一帯を総称して戸八ヶ浦（とはちがうら）と呼ばれた時期がありました。現在、この名は存在しませんが、長崎西南部に対する尊敬の念をこめてこのようなタイトルをつけてみました。
二〇〇九年四月一日 落矢八郎

小ヶ倉ダム

長崎市上戸町には小ヶ倉ダムがあり、地元の方はよくご存知かと思えます。鹿尾川の支流に作られたダムで、現在、堰の下側には「小ヶ倉水園」と呼ばれる公園があります。地元の方が散歩などで利用しています。また、学校の遠足の場所としても活用されています。水園には噴水等の施設があり、癒しの空間を演出しています。私はこちらに来ると心が大変安らぎます。長崎市の水道事業はこれまでに七回の拡張事業（明治〜平成）があったそうです。小ヶ倉ダムは第二回の拡張事業で一九一九（大正八）年〜一九二六（大正十五）年の期間行われました。この背景には第一次世界大戦による工業関係の好景気が考えられます。工業生産の際には多くの水を使用しますが、このことが水利用を増加させたのでしょう。また、人口増加も重なって供給できる水に限界がきていたと思われる。当時、長崎市はダム施設の拡張を考えていたようですが、一九一七（大正六）年に起こった少雨による給

水制限をきつかけに第二回拡張事業を実施したという経緯があります。計画当初は浦上川上流と鹿尾川上流の二箇所候補地がありましたが、最終的に後者が選定されました。これが後の小ヶ倉ダムになります。次に事業経過を述べますが、『長崎水道百年史』に端的な報告がされていますので引用してみます。

水源地となった。

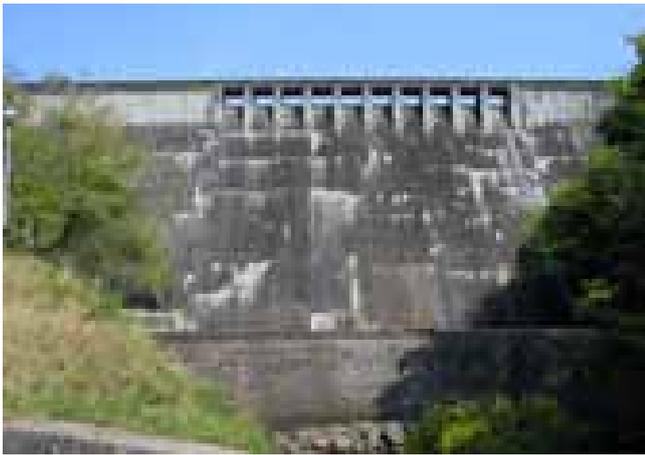
「この第二回拡張工事は一九一九年（大正八）十一月用地測量と用地買収が開始されて以来、一九二六年（大正十五）の竣工までの六年半の歳月をかけて完成した。その間工事の難航と遅延で当初予算より大幅な増額、数回の工期延期があった。一九二二年（大正十一）六月九日ダム現場によるダイナマイト事故、さらに九月九日の集中豪雨による被害事故、災害復旧の最中に起きた不祥事、さらに一九二三年（大正十二）四月二十日と同年五月十日のトロッコ事故、また、大山川水利権にまつわる県と市の対立等多数の問題が起きた第二回拡張工事であったが、出来栄は後世に残るすばらしい

この記事から察するに第二回の拡張工事は大変難航を極めたということがわかります。幾多の困難を越えて完成した時は、工事関係者の方々には感慨深いものがあつたでしょう。素人の私が見ても、現代のダムと比べて引けをとらない雄大なダムです。水園から見る者を圧倒する建築といえます。この他にも出雲町に浄水場が建設されました。これに関する記事も『長崎水道百年史』から引用してみます。
「掘削工事は同年四月二十日着工した。その後、九月の集中豪雨で被害を被り、同年十二月末まで工期が延期されたが、十一月下旬工事は完成した。導水トンネルの地質の悪い箇所も巻立が完了した同年十二月から浄水場建設工事が始まった。この工事は直営で行われ、前述したように、濾過地、配水地は径十二mm鉄筋を使用した長崎最初の鉄筋コンクリート構造物となった。材料運搬は導水トンネルを利用し、運搬の方法は複線の軌道を敷き、トロッコを牛で牽引する牛車を使用し

事務局
とはち
● ホームページ
http://www.hochiya.com/とはち通信で検索
● メール
hochiya@yahoo.co.jp

た。工事は順調に進み、一九二三年（大正十二）年十一月末で完成した。」
出雲浄水場は小ヶ倉ダムよりも早く完成したことがわかります。一九八七（昭和六十二）年まで稼動しましたが、小ヶ倉浄水場の完成によってその役割を終わるとともに廃止されました。
今回は私の勉強不足で半分以上を引用文献で占めてしまいました。大変申し訳ございません。長崎のダムをより知りたい方は【引用・参考文献】を是非一読してください。
（文責 落矢八郎）

【註】
註一：『長崎水道百年史』は横組みで文章作成され、数字は算用数字で表記されています。ここでは縦書きなので算用数字は漢数字の形で表記しました。
註二：一九二二（大正十一）年をさします。
【引用・参考文献】
・長崎水道局 一九九二『長崎水道百年史』長崎文献社
・福田忠昭ほか 一九三七『長崎市史』小ヶ倉水道」地誌編名勝蹟部 長崎市役所



上段…小ヶ倉ダム堤 状況写真①
 現在のダムの状況です。完成して
 八十年以上の時間が経っています…。
 しかし、それを感じさせないのは、そ

の風貌が大きく影響していると考えら
 れます。下流に位置する鹿尾ダムと比
 べると、その違いがすぐにわかります。



初の鉄筋コンクリート小ヶ倉ダム

大正15年（1926）3月完成

中段…小ヶ倉水園内の案内板
 水園内には長崎市内のダムの案内板
 があります。これらはタイル状に加工
 されており、訪問者はいつでも見るこ

とができます。この写真をみると、ダ
 ム建設に携わった人々の苦勞が伝わっ
 てきます。私たちは先人たちの努力を
 忘れてはならないですね。



下段…小ヶ倉ダム堤 状況写真②
 堤の下の箇所を撮影したものです。
 この箇所も中段の写真で確認すること
 ができます。雨上がりの時は滝のよう
 に流れて、とても爽快な気分を楽しむ
 ことができます。写真がハレーション
 を起こして分かりづらいですが、上段
 の写真と同様にブロック状のパーツ
 で仕上げられています。私が撮影し
 た箇所は現在噴水が設置されており、
 訪問者の心を和ませてくれます。皆さ
 んも一度は訪れてみてはどうですか？
 （ただし、ここで遊泳してはいけません
 ）。くれぐれもマナーは守って下さい
 （文責 落矢八郎）